

2021(令和3)年度事業報告

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会

I. 2021(令和3)年度事業活動の概要

① 授賞式

第10回(2021年度)受賞者をHPにて掲載(4月)、授賞式をフランス大使館公邸にて開催する予定でしたが、新型コロナ感染拡大防止の観点から、やむなく中止としました。

② 論文募集告知活動

財団活動紹介及び募集告知を更に強化し、募集案内を大学医学部、大学医学部呼吸器科等、がんセンター、がんセンター呼吸器他、がん拠点病院、疫学他の合計約1,000ヵ所に送付しました。

③ 論文応募状況及び審査過程

7月～9月の募集期間を経て、10月から一次選考、年明けから二次選考を行い、3月中旬に第10回受賞者を決定しました。2021年度の応募総数は26篇でした。
※参考(2012年16篇、2013年11篇、2014年18篇、2015年25篇、2016年16篇、2017年19篇、2018年23篇、2019年25篇、2020年33篇) ※正式受理数

II. 第10回(2021(令和3)年度)ポールブルダリ科学賞並びに同特別賞受賞者

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞」

船井和仁氏 Kazuhito FUNAI (MD, Ph.D.)

浜松医科大学医学部 外科学第一講座 準教授

【該当論文】

尿中蛍光代謝物O-アミノ馬尿酸は、肺がんの検出に有用なバイオマーカーである。

Urinary Fluorescent Metabolite O-Aminohippuric Acid is a Useful Biomarker for Lung Cancer Detection (Metabolomics, 2020 Sep 17;16(10):101)

「後藤喜代子・ポールブルダリ特別賞」

箱崎泰貴氏 Taiki HAKOZAKI (MD.)

がん・感染症センター東京都立駒込病院 呼吸器内科 医員

早稲田大学理工学術院大学院先進理工学研究科在籍中

【該当論文】

進行非小細胞肺癌患者における腸内細菌叢と免疫チェックポイント阻害薬の効果・副作用との関連に関する検討

The Gut Microbiome Associates with Immune Checkpoint Inhibition Outcomes in Patients with Advanced Non-Small Cell Lung Cancer

(Cancer Immunol Res. 2020;8(10):1243-1250.)

Ⅲ. 理事会・評議員会の開催状況

第 42 回 定時理事会 令和 3 年 5 月 27 日 (ZOOM によるリモート会議にて)

決議事項 (1)2020 (令和 2) 年度事業報告及び決算書承認の件

(2) 評議員会開催招集の件

第 21 回 定時評議員会 令和 3 年 6 月 15 日 (ZOOM によるリモート会議にて)

決議事項 (1)2020 (令和 2) 年度事業報告及び決算書承認の件

第 43 回 定時理事会 令和 4 年 3 月 15 日

決議事項 (1)2022 (令和 4) 年度事業計画書及び収支予算書承認の件

(2)2021 (令和 3) 年度科学賞最終選考結果 (授賞対象者及び金額) 承認の件

以上

